

まちのわだい

MY TOWN NEWS

3 8 ~地域ケアシステム推進事業~ みんなで守ろう! 地域の安心・安全

コミュニティセンター城里で、地域ケアシステム推進事業の公開講座が行われました。



当日は、町社会福祉協議会による事業説明のあと、警察官が講師となって、交通事故と詐欺被害を防ぐための講演会が行われました。

講演では、事例をもとに対処法が紹介され、「振り込め詐欺は、高齢者を狙ったものが多い。相手は巧妙な手口で言い寄ってくるため、自分は大丈夫と思わずに、心配なことがあれば身近な人に相談することが大切。」と地域ぐるみの防犯意識向上の重要性が語られました。

また、講演後のアトラクションでは、県警音楽隊が登場し、昭和30年代の名曲が披露されました。



2 26 4年後の再会を願って 桂小学校でサケの稚魚を放流

桂小学校の全校児童が、桂川の上流にサケの稚魚およそ2,000匹を放流しました。

今年、那珂川漁業協同組合から提供をいただいたサケの受精卵を8割の児童が家に持ち帰り、自宅でふ化・成長の様子を観察しました。

また、学校では5年生の有志が“チーム鮭”と命名した飼育チームを結成し、世話をしながら稚魚の成長を見守りました。

放流当日は、3センチメートルほどに育った稚魚を児童一人ひとりが牛乳パックに入れ、「元気に帰ってきてね。」「早く大きくなってね。」と声をかけながら川に放流。稚魚が無事成長し、4年後ふるさとの川へと帰ってくることを願いました。



◀各家庭では、ペットボトルを使って稚魚を育てました。

2 27 町の特産品を使った オリジナル商品を開発!

城里町商工会で、地元食材を使った“まちおこしメニュー”の試食会が行われました。

商工会では、地域の特性を活かした特産品の開発・販売促進のため、県と町の支援を受けて特産品開発委員会を設置。町内飲食店関係者や有識者により地元食材を使ったメニューの研究開発を行ってきました。

この日発表されたのは地元産の「花びらたけ」と「キングポーク」を使った8品。クッキングスクールを主宰する根本悦子さんにアドバイスを受けながら改良を重ね、商品化を目指してきたものです。

町関係者や開発者が集って開催された試食会では、本格的な販売に向けてさらに改良を必要とする点やこれからの販売戦略などについて意見交換が行われました。(商品に関する問合せ:城里町商工会 ☎029-289-2132)



花びらたけを使用した特産品

花びらたけの見た目の美しさと、独特の食感を活かして作られた品々です。

- 花びらたけ味噌漬け
- 花びらたけふりかけ
- 花びらたけ入りゆずゼリー
- 花びらたけ酢漬け



花びらたけ味噌漬け

キングポークを使用した特産品

キングポークのうまみを生かして作られたキングポークじゅうねん味噌を活用した料理です。

- ホロルのたまごバーガー
- キングポークじゅうねん味噌漬け
- キングポークつけ麺
- 城里丼
- ※じゅうねん…エゴマ



ホロルのたまごバーガー

3 9 春季の山火事に備えて 陸と空から消火訓練

七会中学校グラウンド及び周辺の道路を利用し、水戸市と合同の「山林火災防ぎょ訓練」が行われました。

訓練には、両市町の消防団員をはじめ、水戸市消防本部、茨城森林管理署から約200人が参加。森林管理署職員が背負い式放水器具を使って初期消火を行う一方で、消防車両と県の防災ヘリが出勤し、遠距離の送水訓練や空からの消火訓練を行いました。



2 20 七会小学校の児童が福祉体験

七会小学校の5年生が福祉について学ぶため、町社会福祉協議会を訪れ、高齢者疑似体験や車いす体験を実施しました。

高齢者疑似体験では、専用のサポーターやメガネを装着して、高齢者の身体の負担や視界の悪さを体感。2人1組になって行動することにより、介助する側とされる側両方の立場を経験しました。体験した児童は、「段差が見えない」「文字が上手に書けない」などの経験を通して、高齢者の負担を知ることにより、年を取ることへの理解と高齢者への思いやりの大切さを実感しました。



▲階段はゆっくり気をつけて！

◀自分の名前を書いてみよう！

○中学校卒業式 (3月12日)

桂中学校では、卒業生66名に卒業証書が手渡されました。

鹿島 優校長は「夢をあきらめず、自分の選んだ道をまっすぐに進んでほしい」と卒業生にはなむけの言葉を贈り、門出を祝福しました。

式の最後には、卒業生が感謝の気持ちを込めた全員合唱を披露。お世話になった先生や在校生との別れを惜しみながら思い出の詰まった母校を後にしました。



**ご卒業おめでとう
ございます**



○小学校卒業式 (3月19日)



石塚小学校では、在校生が手作りのアーチで花道をつくり、83名の卒業生を祝福しました。

中学校の制服に身を包んだ卒業生は間もなく始まる中学校生活に期待を膨らませながら、6年間の思い出を胸に、学び舎を巣立ちました。

○常北幼稚園卒園式 (3月17日)

